

## 奥羽山脈：岩手山

- ◆日程 2023年10月8日(日)
- ◆メンバー L: OT、KT、HK、SKH
- ◆天候 晴れ雨時々曇り

岩手遠征二日目は県内最高峰の岩手山。三日間のうち行程が最も長い、晴天に恵まれ、気持ちの良い山行となった。(記: OT)



3時、満天の星空。東北遠征の中日は、スッキリ晴れとは言えないものの、雨の心配はなさそう。馬返しキャンプ場を5時過ぎに出発し、YG沢コースの登りCT約4時間半に行く。2.5合目で、噴火の跡を感じられるガレた旧道と灌木帯の新道に分かれるが、私たちは眺望を期待して旧道を選んだ。しばらくして振り向くと、ススキの向こうには朝日を浴びた広大な景色。昨晚泊まったキャンプ場も見つけることができた。二つのコースは7合目で合流、そして8合目には立派な避難小屋

屋が現れ、御成清水というすこぶる旨い湧水が登山者の喉を潤していた。こちらは岩手県山岳・スポーツクライミング協会の皆さんによって管理されており、お手洗いや大変綺麗。地元の山を誇り、愛する気持ちがビシビシ伝わってくる。次は別コースを登って、小屋を利用してみたくなった。さて、寒がりの私は8合目から先の強風にも耐えられるようにウェアのレイヤリングを考えていたが、その不安は良い意味で裏切られ、大変穏やかで暖かな山頂への道のりだった。ついに岩手山2,038mに登頂！雲が湧く山頂で記念撮影をしていると、次第に登山者が増え順番待ちの列が。私たちはお鉢巡りに進む。噴火口は見る角度によって表情を変えるため、一周して正解だった。下山には新道を。狭くてすれ違いには難儀したが、旧道よりも足場が良いため思ったより早くキャンプ場に戻ることができた。

車で早池峰山の麓、河原の坊登山口へ向かう。キャンプ場が見つからず、やむを得ず駐車場にテントを張り(※)、クマに怯えながらの夕食作り。HKさんのチョイス、岩手名物まめぶ汁。小麦粉に対して水の量を多めにしまい団子状にはならなかったが、なんだかんだ美味しい鍋となり、またまた岩手の日本酒に舌鼓。会話も盛り上がり笑いながら眠りにつくのだった。

※河原の坊キャンプ場はシカの通り道となって危険なため、実際は使用されていないとのこと(記: SKH)

朝食(KT): きつねうどん(うどん3玉、おあげ4枚、長ネギ)、林檎

夕食(林): まめぶ汁(小麦粉/クルミ/黒糖の団子、豆腐、ゴボウ、人参、油揚げ、醤油)、林檎

CT: 馬返し駐車場 5:00 - 新道旧道分岐 6:35 - 八合目避難小屋 8:35 - 山頂(薬師岳) 9:50/10:15 - 八合目避難小屋 11:20 - 馬返し駐車場 14:00

